

令和の新潟市の授業づくり



見たいところをクリック！

- 目指す子どもの姿は？
- 今までとどこが違う？
- タブレット端末はどんな使い方ができるの？
- アウトプットとは？
- 優れた学習課題とは？
- 「まとめる」と「振り返る」の違いは？
- 各教科等の授業例が知りたい
- ICT端末の活用事例が知りたい
- パイロット校の実践が知りたい
- 情報活用能力とは？



振り返る

まとめる

アウト
プット

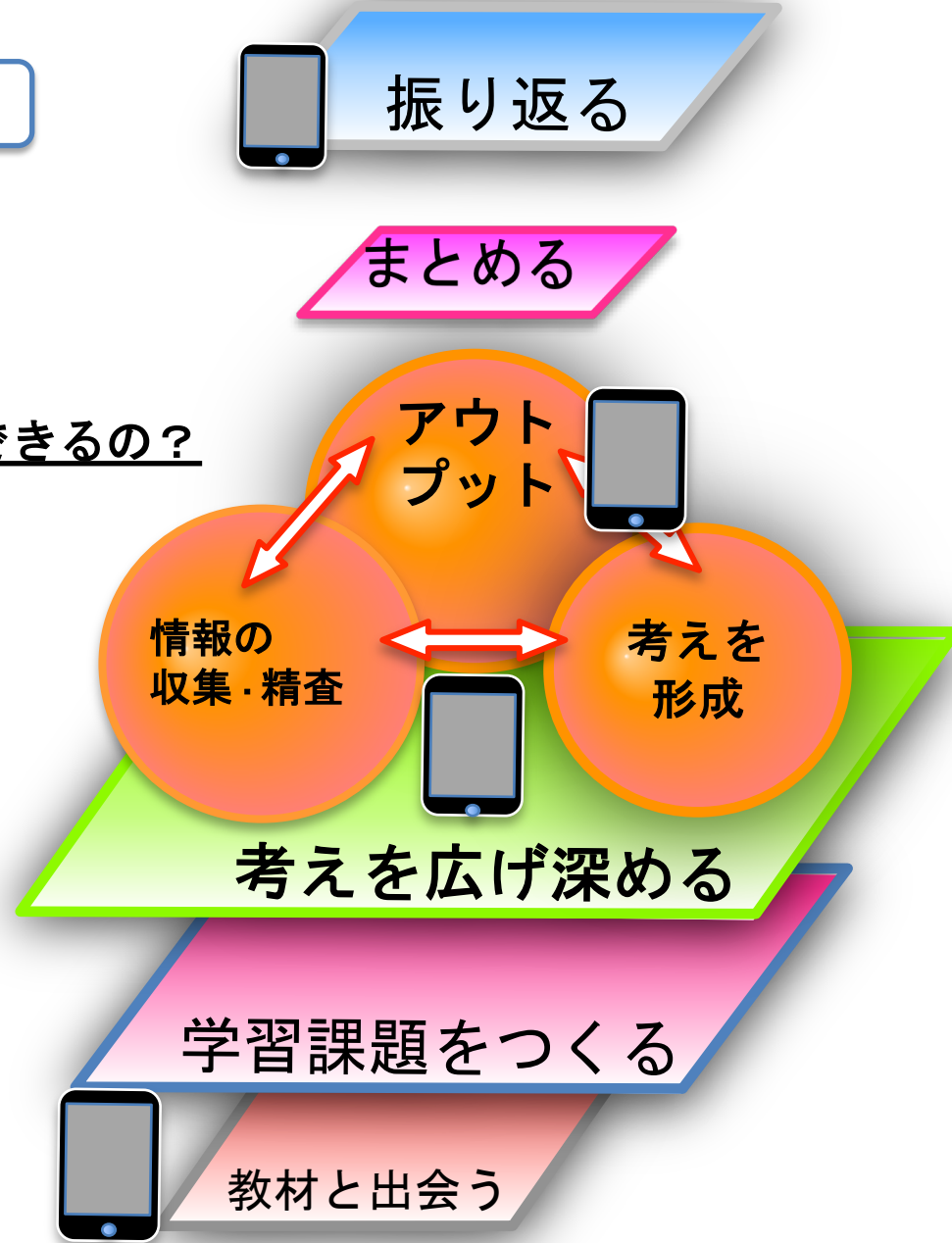
情報の
収集・精査

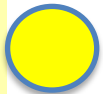
考えを
形成

考えを広げ深める

学習課題をつくる

教材と出会う





目指す子どもの姿は？

- ・自ら課題をつくり，その解決に向けて協働的・対話的に考えを広げ深めていく子ども
- ・自分の学びを振り返り，自分に付いた力を自覚し，次につなげる子ども
- ・情報活用能力を育みながらICTを活用して学ぶ子ども

子どもの姿

- ・自分に付いた力を振り返って自覚する。
- ・別の事象に適用させて自分に付いた力を実感する。

- ・学習課題の答えを共有する。

○学習課題を解決するために追究を行う。

【課題解決に必要な情報を収集する】

- ・ 既有知識（生活経験に基づく素朴概念・前学年や前単元，前時の既習事項など）と関連付けて調べる。
- ・ 課題解決に必要な知識を先生から教わる。
- ・ 体験したり，試行錯誤したりする。

【考えを形成し，アウトプットする】

- ・ 思考ツール等を活用して思考を可視化し，情報を精査する。
- ・ ICTを活用してリアルタイムで考えを共有する。
- ・ 交流を通して思考を広げる。
- ・ 子どもが獲得した知識や学び方を表現するアウトプットを行う。

- ・ 質の高い学習課題をつくり共有する。

- ・ 教材と出会い，既有知識や生活経験，友達とのずれなどから問いを見付け出す。

学習過程

振り返る

まとめる

アウト
プット

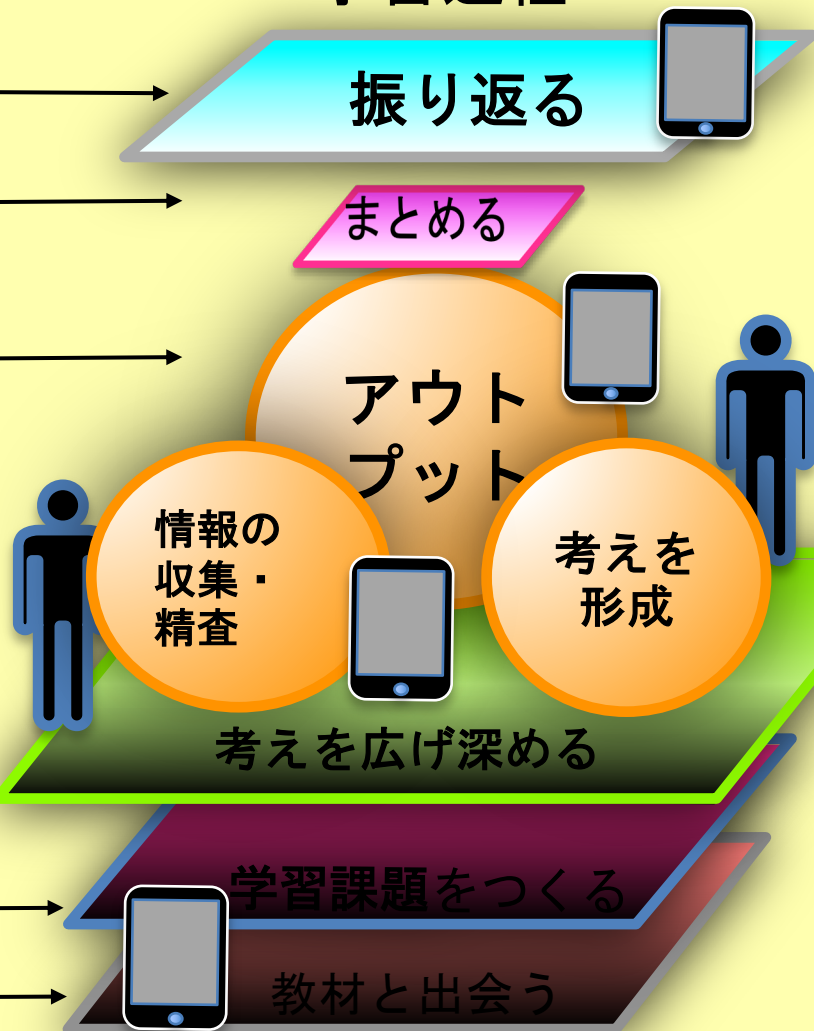
情報の
収集・
精査

考えを
形成

考えを広げ深める

学習課題をつくる

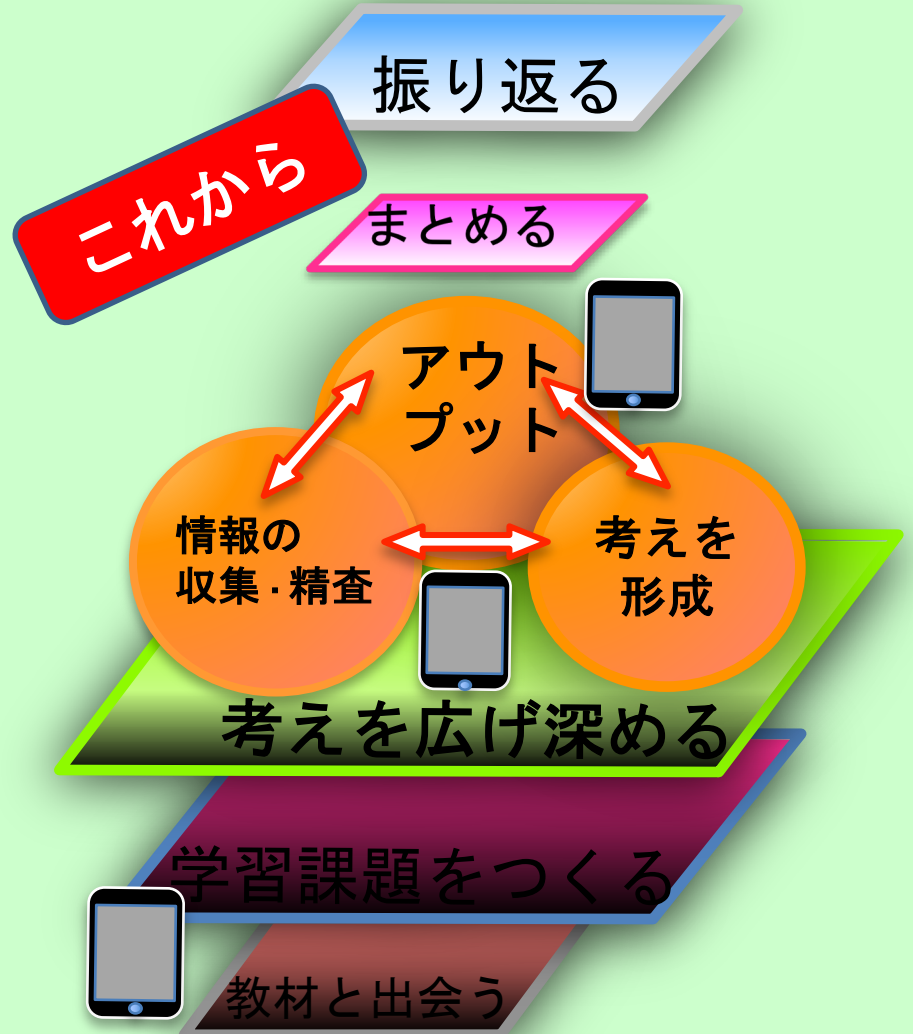
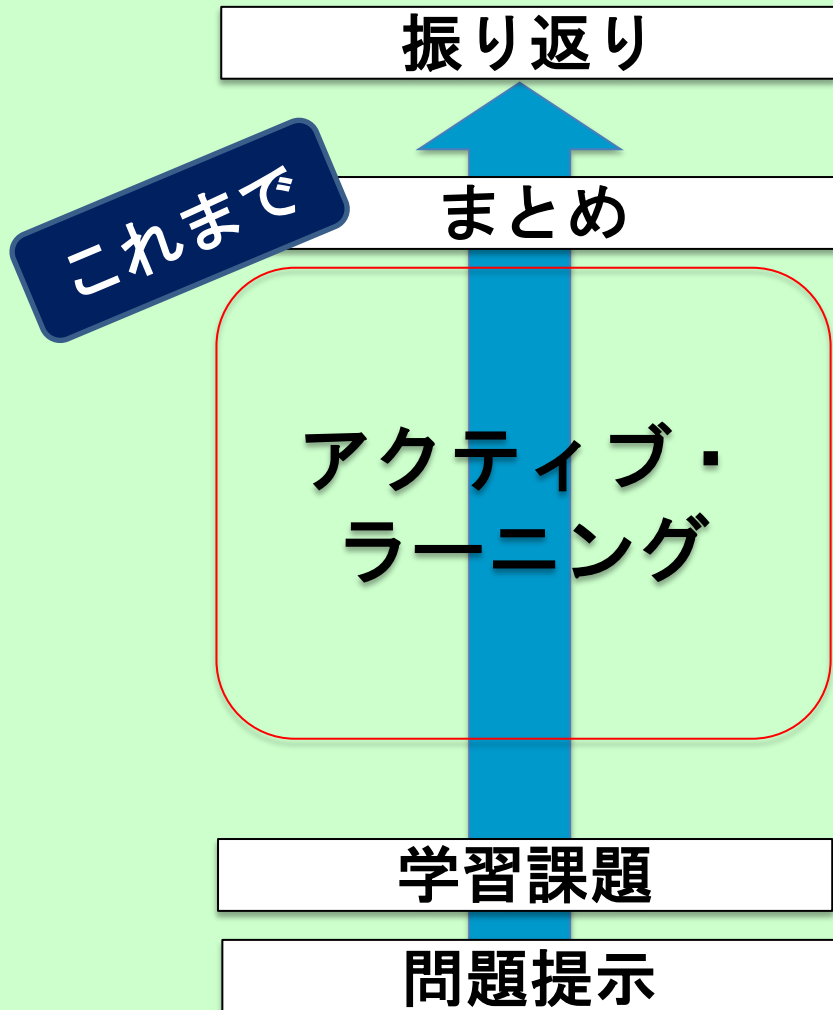
教材と出会う





今までとどこが違う？ part 1

授業づくりの学習過程の構造は、これまでの「新潟市の授業づくり」の延長線上にあります。現在「アクティブ・ラーニング」と示されている部分が、GIGAスクール構想における情報活用能力を発揮しながら、「情報の収集・精査」「考えの形成」「アウトプット」の視点からの授業づくりに進みます。





今までとどこが違う？ part2

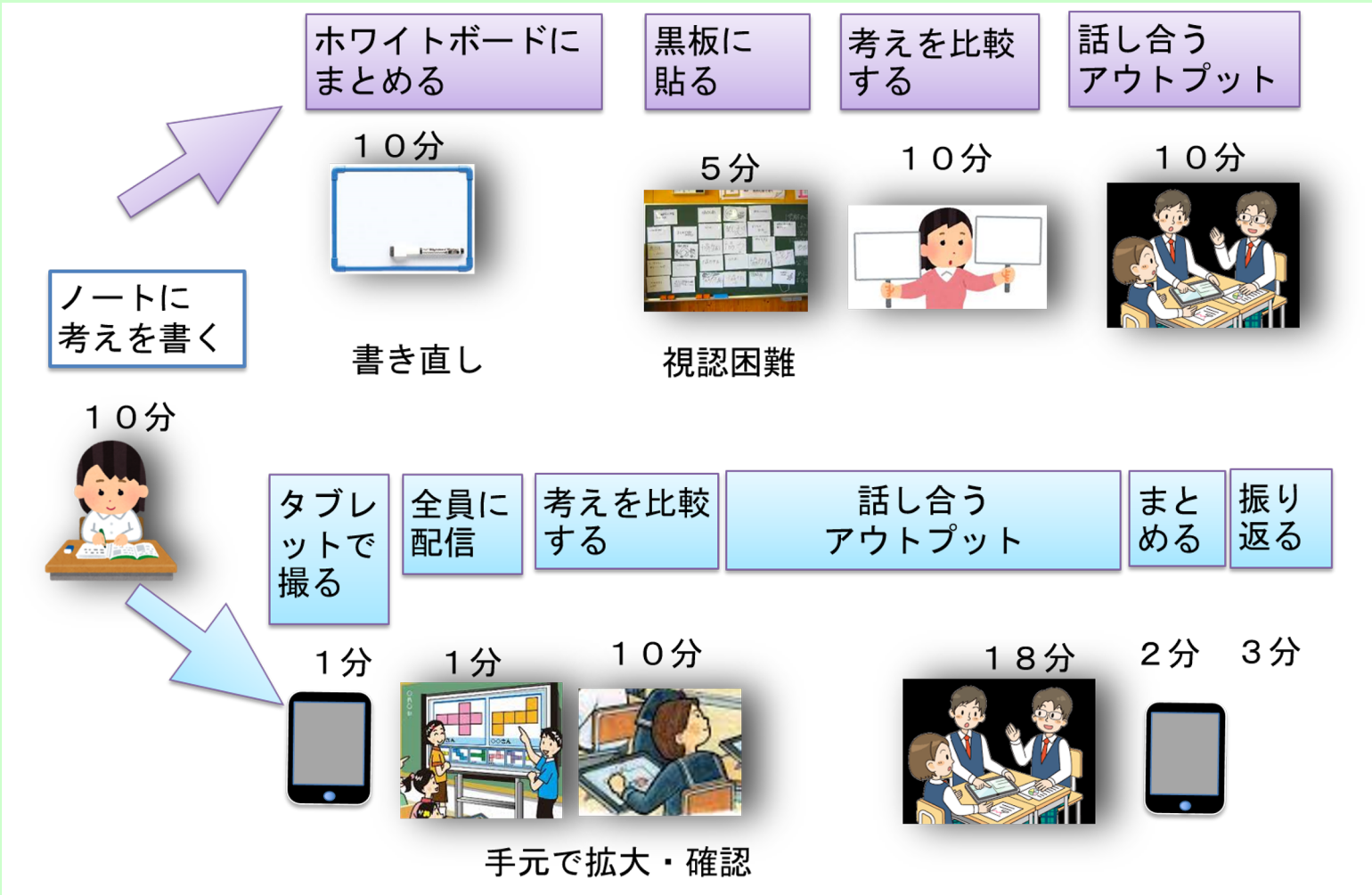
1時間を例に、ICT活用のよさについて考えてみましょう。

同じようにノートに「自分の考えを書く」活動からスタートしても、ICTを活用することにより、時間効率がよくなり、話し合い等によりじっくり考えを広げ深めることで結果的に資質・能力を育むことにつながります。

これまで



これから





タブレット端末はどんな使い方ができるの？

新潟市では、タブレットをご覧の4つの役割をもつメディアとして捉えます。学習過程のそれぞれで活用し、学びを広げたり進化させたりできます。



伝え合う

協働を促すのが目的で友達と話し合い、考えを表出する



知識を得る

教材と出会ったり教師の説明を含む情報を収集したりする



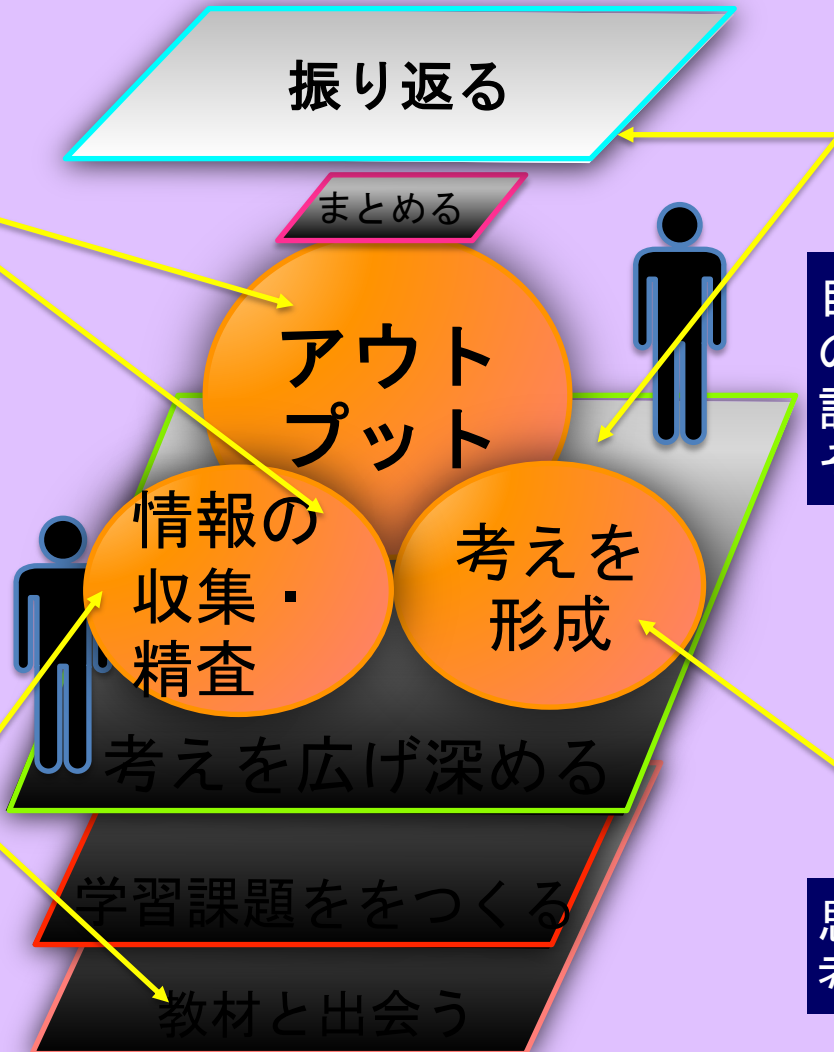
記録する

自分の学びの姿や思考の跡を写真や動画等で記録する
それを基に振り返る



考える

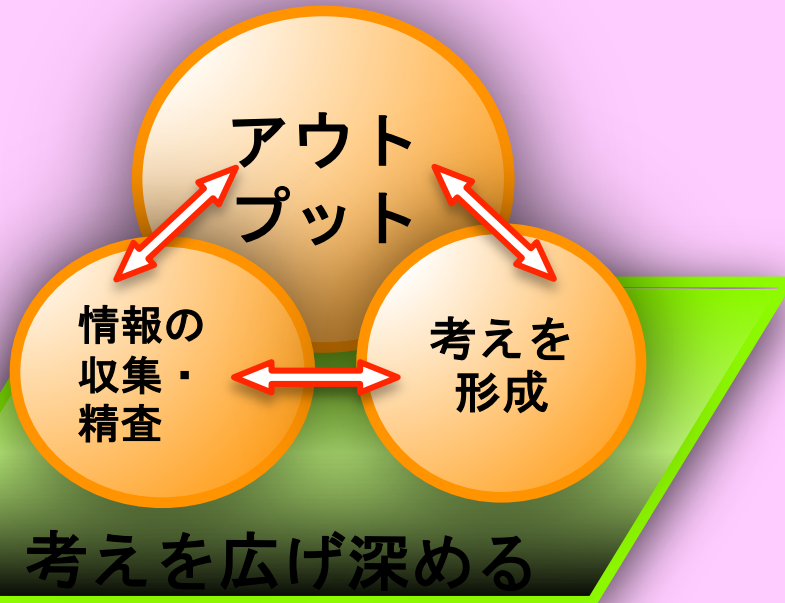
思考ツール等を使い、考えを形成する





アウトプットとは？

アウトプットは、対象とのかかわりの中から、情報収集した知識や既有知識と関連付けて学習課題の解決に取り組む中で、子どもが獲得した知識や考え方を自分の方法で自分の言葉などで表現することです。（アウトプットの姿として文字的・図的・数的・操作的・身体的・音楽的な表現をする学習活動が考えられます。）



情報の収集

解決に向けて必要な情報を集める。

↓ ↑

考えの形成

協働的対話的な学びを通して必要な情報を精査して自分の考えを形成する。

↓ ↑

アウトプット

子どもが獲得した知識や考え方を自分の方法で自分の言葉で表現するアウトプットを行う。



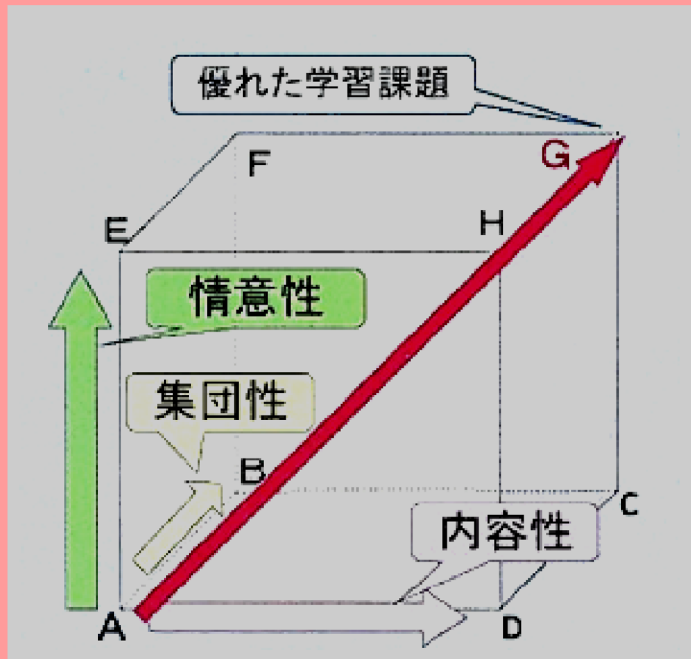
「考えを形成」しながら「アウトプット」することや、「考えを形成」しながらもう一度必要な「情報を収集」することなど、この三つは、タブレットを活用しながら往還するよ。

また、「考えの形成」と「アウトプット」は、教科によっては、一体的に行われる場合もあるよ。



優れた学習課題とは？

内容性，情意性，集団性 + 現実性の高い，優れた学習課題をつくります。



- ・ **内容性** . . . 学習課題の求める内容が，学習指導要領に示されている指導内容と的確に対応している。

- ・ **情意性** . . . 子どもの興味・関心や問題意識，必要感を基に設定されている。

- ・ **集団性** . . . 学級全体が追究に向けての意欲をもっており，子ども同士がかかわる必要性がある。

+さらなる高みを目指すなら

- ・ **現実性** . . . 現実の生活や社会とつながり解決の必然性がある。

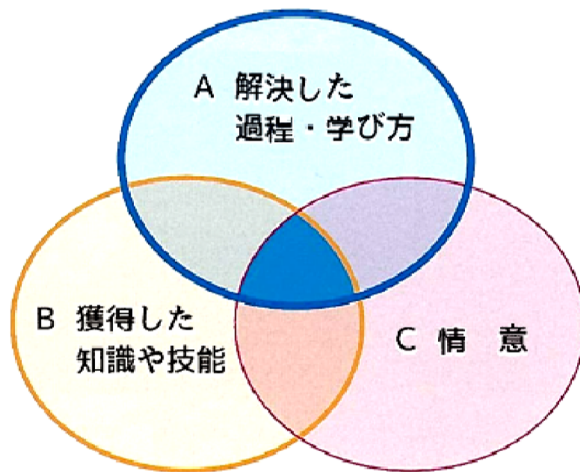


特に総合では大事！

優れた学習課題をつくることで，児童生徒に主体性が発揮され，対話によって協働性が生まれ，学習が深まります。そのためには，問いを引き出す教材と出会わせ，学習課題を共有させる教師の手立てが重要です。

「まとめる」と「振り返る」の違いは？

まとめる・・・みんなで学習課題に対する答えを共有します。
振り返る・・・単元の節目の時間や内容のまとまりの終末に設定し、次の3つの学びを自覚できるようにします。



多くの場合、A・B・Cの振り返りは単独ではなく、それぞれを含んだ形で行われます。

年に一度は挑戦！

授業例をチェック！

＋さらなる高みを目指すなら

評価規準を子どもと共有して振り返ることにより、資質・能力を自覚できるようになります。その際、評定の材料にならない「思いやり、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力などの人間性等」も涵養するように、意図して振り返らせましょう。

学習指導要領解説 総則編（小p38・中p39）

これは支持的風土の醸成にも大きくかかわってきます。



タブレット端末で学びを写真や動画で記録しておくよ、実感を伴って振り返りができるよ。

教科等の授業例が知りたい

令和の学習過程に基づく単元のデザイン例があります。

国語

社会

算数
数学

(工事中)

理科

音楽

図画工作
美術

技術・
家庭

体育
保健体育

外国語

道徳

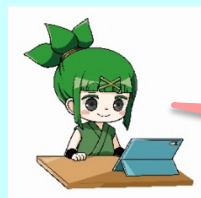
生活
総合

外国語
活動

特別活動

各種教育

全実践例
一覧



授業の中でICTをどう活用するかについても具体例が載っているよ。

- ICT端末の活用事例が知りたい



ICT端末を活用した好事例集



- ▶ 日々の授業× ICT
- ▶ 授業とつながる家庭学習× ICT

日々の授業×ICT

【小学校】

<u>内野小1年</u>	算数
<u>笠木小1年</u>	図画工作
<u>新津第一小1年</u>	算数
<u>東中野山小5年</u>	道徳
<u>新通つばさ小4年</u>	国語
<u>新津第三小6年</u>	国語
<u>横越小6年</u>	体育

【中学校】

<u>東新潟中1年</u>	音楽
<u>木崎中1年</u>	外国語
<u>臼井中2年</u>	外国語
<u>巻東中2年</u>	外国語
<u>味方中3年</u>	外国語

授業とつながる家庭学習 × ICT

東中野山小学校

小合東小学校

単元名と本時のねらい

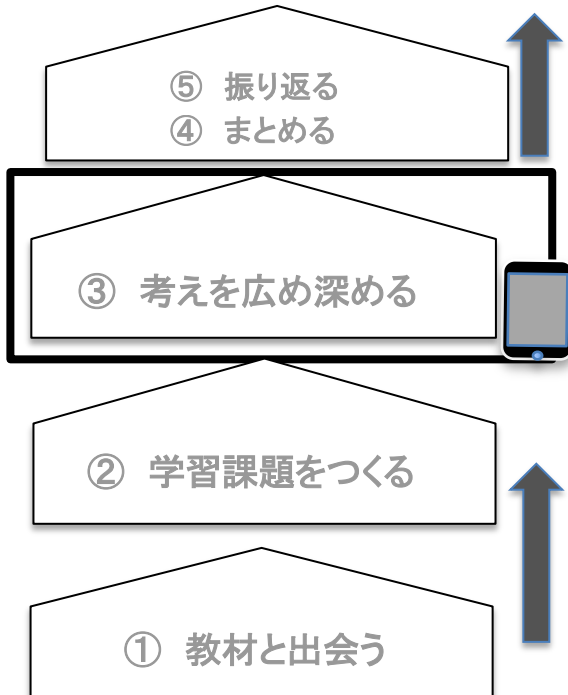
単元名: のこりはいくつ ちがいはいくつ

本時のねらい: 減法の用いられる場面において, 絵本を作る活動を通して, 絵や言葉を使って表すことができる。

ICT活用のポイント

児童が自分で考えた「6 - (ひく) 2」の「のこりひきざん」の絵本をロイロノートで作成する。教師に提出した児童が, 互いにICT端末を見せ合いながら, 自分の言葉で伝え合う。

授業の概要



- ③ 考えを広め深める
まとめを基に, 自分なりに「6 - (ひく) 2」の「のこりひきざん」の絵本を作成し, 互いに伝え合う。
身の回りの様々な場面で, のこりひきざん言葉があることを知る。
- ④ まとめる
ひきざん言葉を書いたり, 丸で囲んだり矢印を書いたりして, 残りがわかるようにする。
- ③ 考えを広め深める
必要な言葉や印を書き足し, 絵本を完成させる。
- ①② 教材と出会う, 学習課題をつくる
説明(言葉や印)のない「ひきざんえほん」を提示し, 何が不足しているのかを考える。

【ICT活用の場面】

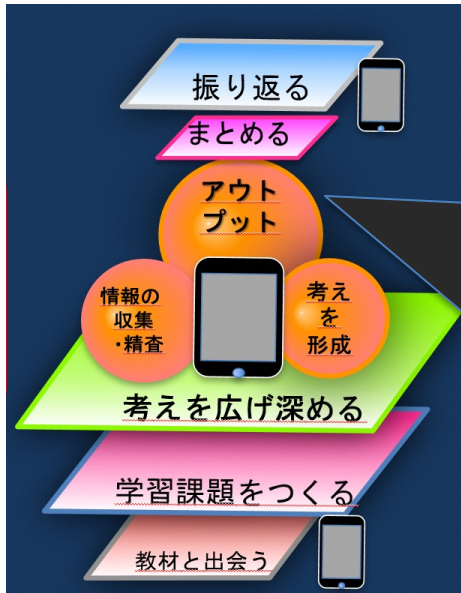


～作成した「のこりひきざん」の絵本を互いに伝え合う～



ロイノートで作成した絵本を、互いに見せ合い自分の言葉で伝え合う様子

新潟市の目指す授業モデル例



【考えを広げ深める】

「のこりひきざん」のおはなしにするには、

- ① 「ひきざんことば」をかく。
- ② ○でかこんだり，やじるしをかいたりする。

上記のまとめを基に、自分なりに「6-2」の「のこりひきざん」の絵本を作成し、互いに伝え合った。

身の回りの様々な場面で、以下のような「のこりひきざん言葉」があることを知ることができた。

- ・ たべると
- ・ あげると
- ・ つかう
- と
- ・ とんでいくと
- ・ かえると
- ・ とると
- ・ でていくと



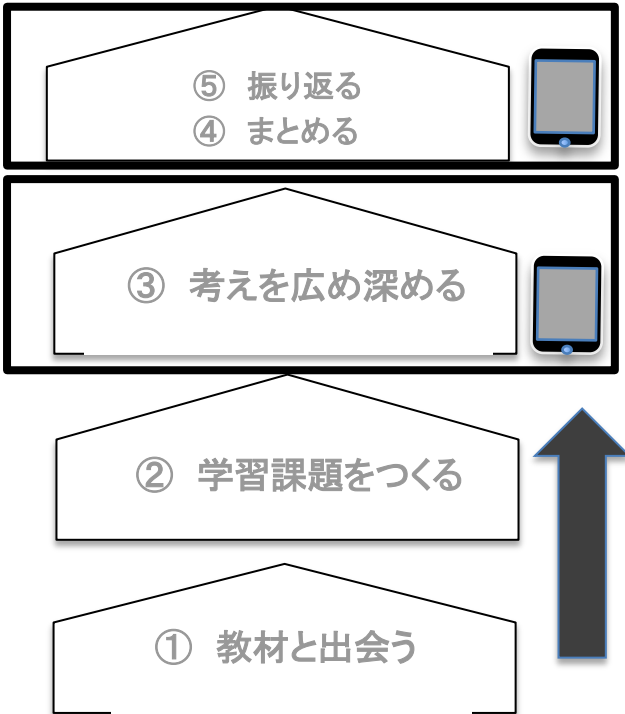
題材名と本時のねらい

題材名：いろの見えかたむげん大

本時のねらい：透明色紙を重ねて生まれる色と形について、試しづくりをしたり、タブレット端末を活用して鑑賞したりする活動を通して、色と形に着目した重ね方の自己の気づきを増やすことができる。

ICT活用のポイント

透明色紙を重ねて作成した作品をICT端末のカメラ機能を用いて写真に撮る。重ねてできた色や形にマーキングすることで焦点化を図る。写真を撮ったら、新たな作品を作成してまた写真に撮ることで1時間に複数の作品を制作することができる。さらに、自らの作品を比較して一番のお気に入りを決め、気づきを言葉でまとめるとともに、ロイロノートの提出機能を用いて提出する。

- 
- ⑤ 振り返る
④ まとめる

- ③ 考えを広め深める

- ② 学習課題をつくる

- ① 教材と出会う

授業の概要

- ④⑤まとめる・振り返る。

一番のお気に入りとなった作品の写真をロイロノートに提出する。素敵だと思ったことや本時で気付いたことを書いて提出する。
(本時では、感想をワークシートで書いたが、ロイロカードに発展可能)

- ③考えを広め深める

作品を作り、タブレット端末で写真を撮る。重ねてできた色や形の部分に印を付けさせ、ロイロノートで提出する。
作品の素敵なところを、電子黒板に投影して、発表し合う。

- ①②教材に出会い課題に気付く

透明色紙を提示し、どのように重ねると、すてきな色や形が見つかるかを問う。

新潟市立笠木小学校 第1・2学年【教科：図画工作】 ②

【ICT活用の場面】

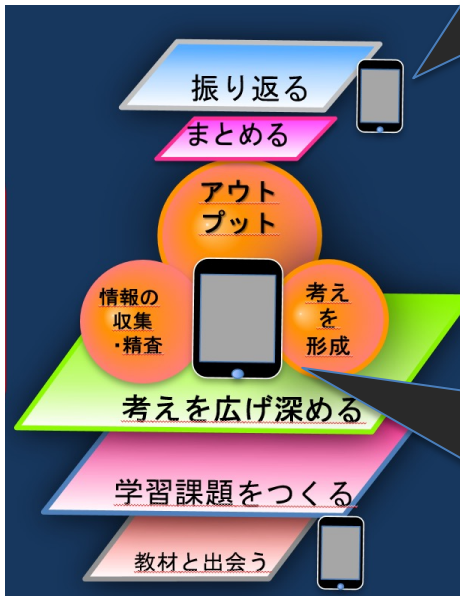


～いろいろの見えかたむげん大～



自分の一番のお気に入りを選ぶため、次々に行ける自分の作品を写真で撮りためる様子

新潟市の目指す授業モデル例



【まとめる・振り返る】

子どもは、作った作品の最も気に入ったものを一つ選び、その理由を考えて書く。

そして、感想と作品をロイロノートスクールを用いて提出する。こうすることで、次の良さがある。

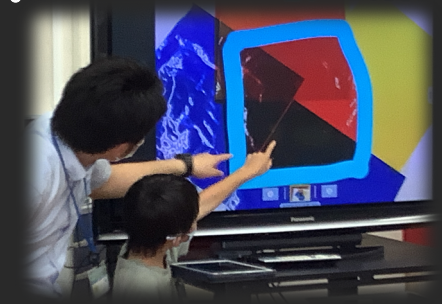
- ①子どもは、自分の一番気に入った作品を気付きと共に、デジタルポートフォリオとして残すことができる。
- ②他の子どもたちに公開し、鑑賞してもらうことができる。(表現の場)
- ③相互評価ができる。
- ④教師にとって、評価資料となる。



【考えを広げ深める】

作品を投影し、生まれた色・形の重ね方を鑑賞の視点として、工夫や価値を認め合う。

- C この中でない色がある！
 T 違う色を重ねたんだね
 C エメラルドグリーン
 C 重ねる順を変えたら色が違う。
 C 変わった！オレンジみたいになった！
 C 本当だ、違う！
 T すごい発見だね！



単元名と本時のねらい

単元名:「国づくりを学ぶ前と後」

本時のねらい: 聖徳太子の国づくりについて、十七条の憲法が定められた時代背景を考え、これまで学習してきた出来事を関連付ける活動を通して、中国の政治の仕組みや仏教の考えを取り入れて国づくりが行われたことを理解することができる。

ICT活用のポイント

フィッシュボーンを使って、人物の働き(聖徳太子が行った政策)があった前と後で国づくりにどのような変化があったかを可視化し、共有する。

⑤ 振り返る
④ まとめる

③ 考えを広め深める

② 学習課題をつくる

① 教材と出会う

授業の概要

④ まとめる

聖徳太子が行った政策の前後について、フィッシュボーンでまとめることでどのような願いを込めて国づくりを進めていたのかを考える。

③ 考えを広め深める

冠位十二階や十七条の憲法について調べ、制定前と後で人々にどのような変化が生まれたのかを自分で考えたり、友達と意見交換したりする。

① 教材に出会い課題に気付く

中国(隋)との国交がうまくいかなかった事実から、その理由とその後の改善について考え、聖徳太子がどのような国づくりを目指したのかを想像する。

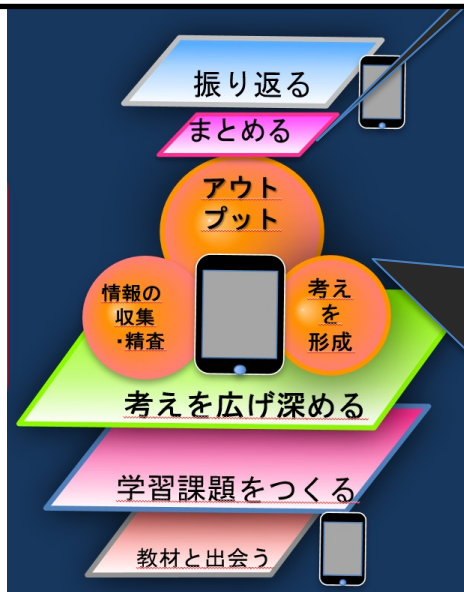
【ICT活用の場面】



～互いの考えを共有し、話し合う～

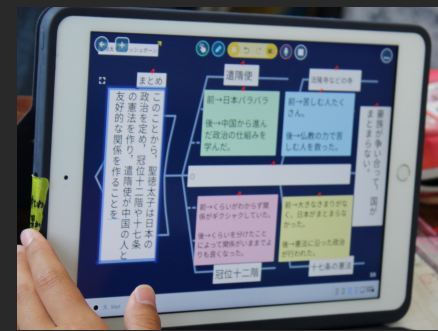


思考ツール「フィッシュボーン」を使って考えを可視化し、共有しやすくしている様子



【まとめる】

単元のまとまりを通して調べてきた聖徳太子の政策と、その前後の変化から、どのような国づくりが行われて、課題であった中国(隋)との国交は、どうなったかについて考えをまとめる。



【考えを広げ深める】

① 調べて考える

冠位十二階と十七条の憲法について調べ、その内容を記述するのではなく、制定前後でどのような変化が起こったかについて政策ごとに色分けをしてメモに記述する。



② 考えを共有する

学級全体の記述を可視化し、グループで自分の意見や友達の見解を比較したり、関連付けたりして、聖徳太子がどのような考えで、どんな国づくりを目指していたのかを意見交換する。



主題名と本時のねらい

主題名: 広く受け入れる心 B (相互理解, 寛容)

本時のねらい: 相互理解について, 登場人物の心情の変化とその理解を考える活動を通して, 異なる立場や考えを尊重していこうとする態度を育てる。

ICT活用のポイント

アプリ(ムーブノート)内にある「心情メーター」とスタンプ機能を使い, 登場人物の行為を「許す」「許さない」のどちらかに自分の考えを明示させる。その際, 登場人物の行為を「許す」「許さない」といった2項対立の話合いにならないよう, メーター機能の特性を生かして, 子どもの「迷う」気持ちを表出させることで, 話合いの活性化につなげている。

⑤ 振り返る

③ 考えを広め深める

② 学習課題をつくる

① 教材と出会う

授業の概要

⑤振り返る

振り返りをノートに書き, それをICT端末で写真にとり, アプリ(ムーブノート)内で共有する。

③考えを広め深める

アプリ(ムーブノート)内にある「心情メーター」を使い, 子どもの心情を可視化する。その際, 登場人物の行為を「許す」「許さない」といった2項対立の話合いにならないよう, メーター機能の特性を生かして, 子どもの「迷う」気持ちを表出できるようにする。それぞれに表出させた考えは, 同アプリ内で共有する。

事前に, アプリ(ムーブノート)内にある「アンケート機能」を使って, 「他の人が自分にとって嫌なことをしたら許せるか」という事前アンケートを取り, そこから, 「考えのちがう相手とどうかかわるとよいか」という学習課題をつくる。

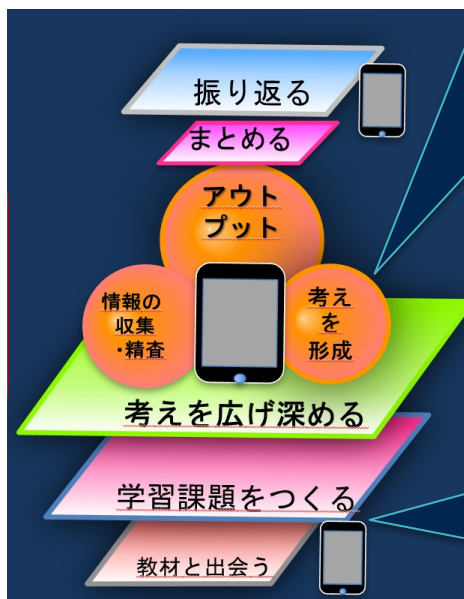
新潟市立東中野山小学校 第5学年【教科:道徳科】 ②

【ICT活用の場面】

～可視化した心情をもとに、
ペアで意見交流する姿～



新潟市の目指す授業モデル例



【考えを広げ深める】

・アプリ(ムーブノート)は、「許す」、「許さない」を対極に置いた矢印型の思考ツールとなっており、「迷う」や「どちらともいえない」という葛藤を抱える子どもの微妙な心情も矢印上に示すことができることから、子どもの考えを引き出しやすくする。また、全体共有をするだけで学級全体の思考の傾向を教師も子どもも瞬時に把握することができるため、話し合いの活性化につながる。



【まとめる・振り返る】

・振り返りでは、「授業を通して●●ということが分かった。」、「●●さんの意見を聞いて、◆◆ということが分かった」、「これまでの自分は●●だった。これからは・・・」、「登場人物は●●だ。でも自分は・・・」、などの振り返りの型を組み合わせ、学習を振り返る。また、記述したノートをICT端末のカメラ機能で写真を撮り、アプリ(ムーブノート)内で、瞬時に全体共有をする。

【学習課題をつくる】

・事前に、アプリ(ムーブノート)内にある「アンケート機能」を使って、「他の人が自分にとって嫌なことをしたら許せるか」という事前アンケートを取り、そこから、「考えのちがう相手とどうかかわるとよいか」という学習課題をつくる。

新潟市立新通つばさ学校 第4学年【教科:国語】 ①

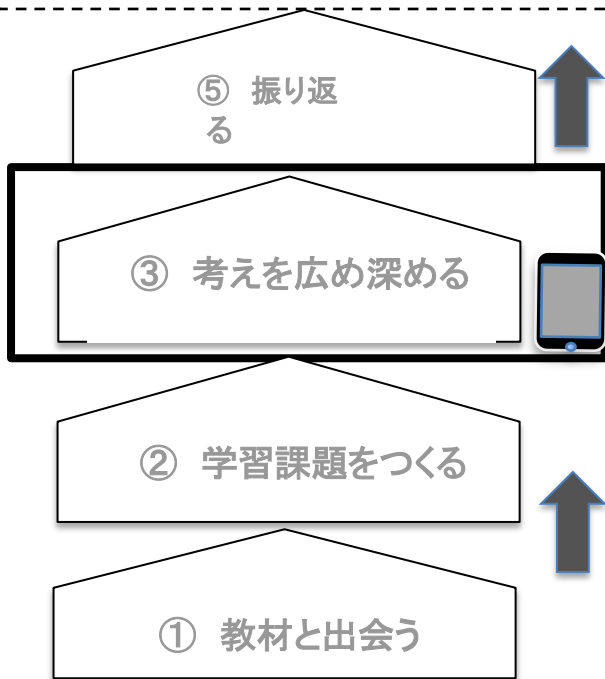
単元名と本時のねらい

単元名 事実を分かりやすくほうこくしよう 新聞を作ろう

本時のねらい: 新聞記事を読んで友達と意見交流することを通して、新聞の工夫に気付き、まとめることができる。

ICT活用のポイント

実際の新聞(子ども用に編集された新聞)の一面を読み、読者に情報を伝えるために、新聞のレイアウトには、どのような工夫がされているかを考える活動において、ICT端末を活用する。ICT端末の「写真」「書き込み」機能を用いることにより、どの部分に着目したのか、なぜ着目したのかを記録することができる。また、「共有」機能を用いることによって、短時間で学級全体の考えを比較することができる。



授業の概要

③考えを広め深める

- ・ 学級全体で、同じ新聞(子ども用に編集された新聞)の一面を見ながら、「分かりやすい新聞」について気付いたことを意見交流する。
- ・ 「見出しの文字の大きさ」「写真」「図」など、新聞のレイアウトに工夫があることを共有する。
- ・ 別の新聞(子ども用に編集された新聞)の一面についても読み、新聞のレイアウトの工夫について考える。
- ・ 伝えたい事柄を効果的に伝えるためのレイアウトの工夫として、最もよいと考えるものを選択し、ICT端末に記録する(選んだ工夫とその理由)。
- ・ ICT端末の共有機能で、他の人が選んだレイアウトの工夫を確認する。同じ工夫に気付いた人を見つけて自分の考えを強化したり、別な気付きを見ることによって考えを広げたりする。

新潟市立新通つばさ小学校 第4学年【教科：国語】 ②

【ICT活用の場面】

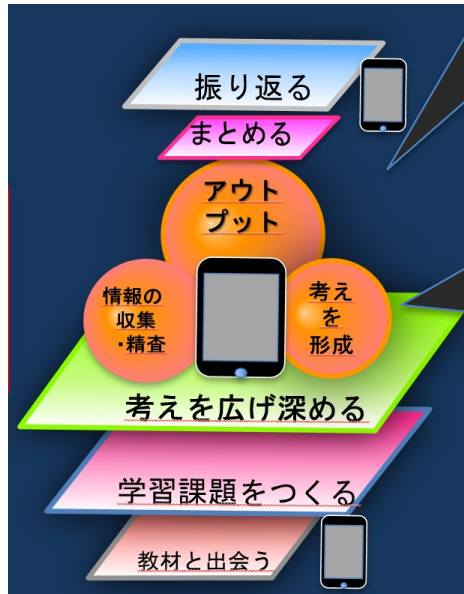


～新聞のレイアウトの工夫に気付く～



端末にある「書き込み機能」を用いて、工夫に気付いたところにメモ書きをしたりマークをしたりする様子

新潟市の目指す授業モデル例



【考えを広げ深める】

ICT端末の「共有」機能で自分の考えを広げる

【考えの形成】

「共有」機能を用いることで、早く活動が終わった子どもから、
 ・自分と同じ考えの人はいるか
 ・他の人は、何を一番にしたのかなどの観点をもって、主体的に仲間の考えを見たり比較したりすることができる。

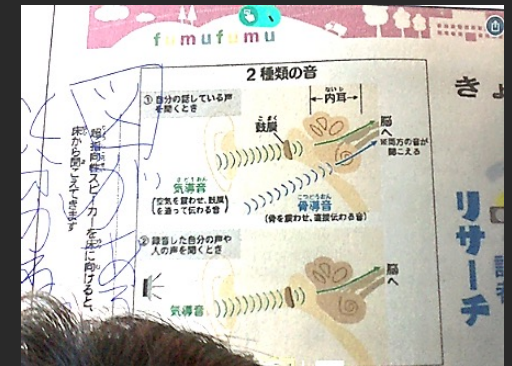


【アウトプット】

モデルとなる新聞を見る・読む

【アウトプット】

実際の新聞を活用することによって、学習の見通しをもったり、自分が新聞を書く(表現する)際のモデルにしたりすることができる。



単元名と本時のねらい

単元名:「言葉を選んで、短歌を作ろう『たのしみは』」

本時のねらい:「たのしみ」が伝わる短歌を作ることについて、構成や書き表し方などに着目して言葉を吟味する活動を通して、短歌を整えることができる。

ICT活用のポイント

ロイロノートのカード機能を用いて、工夫に応じて色分けし、友達と作品を紹介し合い、コメントを送り合うことでよりよくなっていく。

⑤ 振り返る

③ 考えを広め深める

② 学習課題をつくる

① 教材と出会う

授業の概要

③ 考えを広め深める

使った表現の工夫に応じてカードの色を変えた短歌を友達に送り、コメントを送り合う活動。ロイロノートでのカードのやり取りにより、たくさんの友達ともかかわることができる。ねらいを達成することができる。

① 教材に出会い課題に気付く

教師が自作した短歌を、工夫を取り入れながら変えていく様子を大型提示装置で提示する。前時までに作成した自分の短歌をさらに工夫するための見通しを立てることができる。

新潟市立新津第三小学校 第6学年【教科:国語科】 ②

【ICT活用の場面】

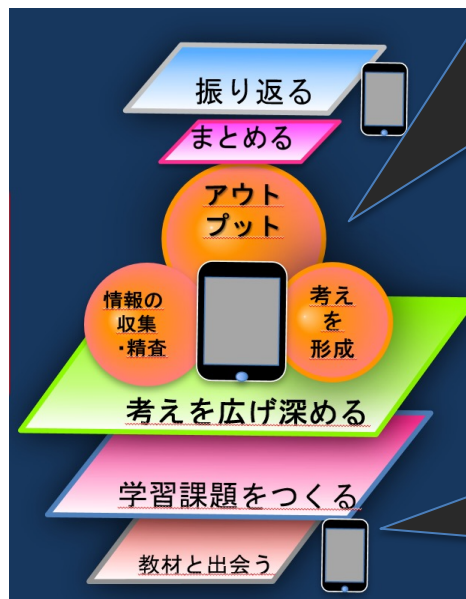


～短歌を工夫ごとに色分けし、友達に送信～



ロイロノートのカード機能を使い、短歌を工夫ごとに色分けをして、相手に見やすく紹介している様子

新潟市の目指す授業モデル例



【考えを広げ深める】

植物が種から芽生える様子をより擬人化するアドバイスを、普段はあまり交流がない友達からもらい、短歌を改善することができていた。

完成した短歌の出来栄えに満足する記述が振り返りからも見とることができた。



ロイロノートでのアドバイスの送り合いを楽しみつつも、時には実際に相談をしながら、短歌の改善をしていく様子も見られました。授業の中では、デジタルの良さもアナログ(対面)の良さや価値もあることが、子どもの姿から見て取ることができました。

【教材と出会う】

工夫を取り入れて、一か所が変えられた短歌を大型提示装置で提示した。その工夫によって、読んだ感じがどのように変わるかを、全員で確認することができた。



新潟市立横越小学校 第6学年【教科:体育】 ①

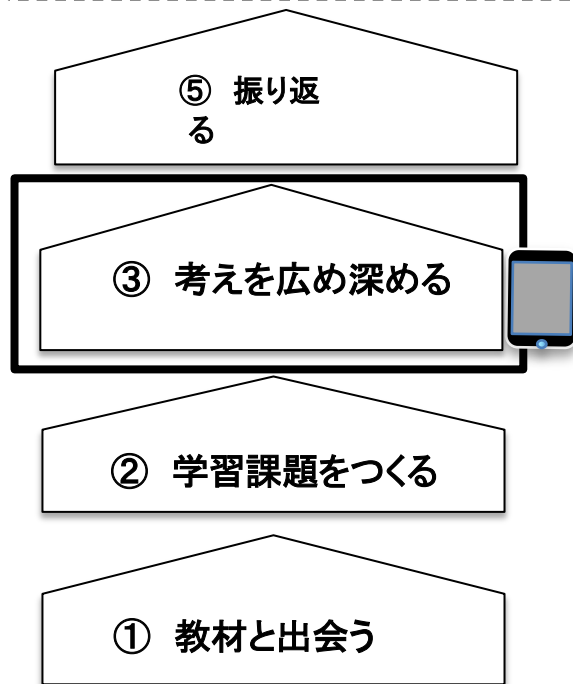
単元名と本時のねらい

単元名 : B 器械運動「跳び箱運動」

本時のねらい: 伸膝台上前転について、ICT端末を用いて回転中に力を入れる部位に着目させることを通して、つま先の位置が高い回転ができる。

ICT活用のポイント

全員で正しい伸膝台上前転の仕方を映像で確認したり、自分の回転の様子を友達から撮ってもらって見直したりすることで、ねらいとする技能の習得につなげている。



授業の概要

④まとめる

全員で「お腹や背中に力を入れるとよい」ということを再確認し、技の上達を目指すことで、一人一人の意欲的な取組へとつなげていく。

③考えを広め深める

全員で技の様子を確認した後、伸膝台上前転に挑戦する。その際、班の友達から自分の実際の動きをICT端末で撮ってもらい、出来映えを確認するとともに回転の仕方についてアドバイスをもらう。

担任は、正しい伸膝台上前転の動きを再確認させるため、途中で集合させる。

①教材に出会い課題を見つける

これまでの学習の経過を子どもたちと確認し、膝が伸びた状態で台上で大きく前転している子がいることに気付く。

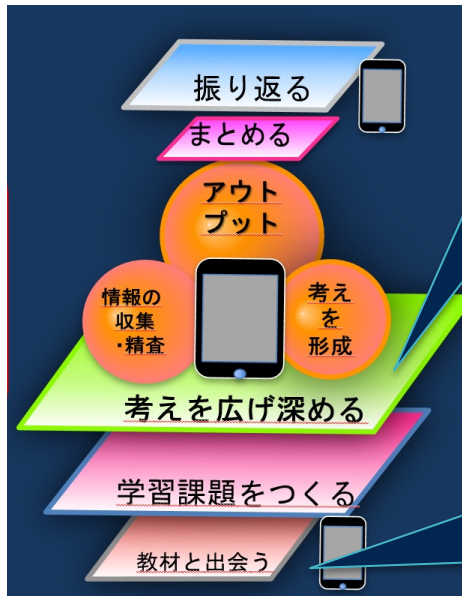
【ICT活用の場面】



～アドバイスをするために友達の技を撮影する姿～



新潟市の目指す授業モデル



【考えを広め深める】

- ・自分の技の出来映えを確認する。
- ・友達の技の出来映えについて、アドバイスする。

全員で技の様子を確認した後、伸膝台上前転に挑戦する。

その際、班の友達から自分の実際の動きをICT端末で撮ってもらい、出来映えを確認するとともに、回転の仕方についてアドバイスをもらう。



「膝をもっと伸ばすようにすると思う。」

とアドバイスを受けたA男は、その後、膝を伸ばすことを意識しながら練習に取り組み、その都度、自分の技の様子を何度も確認する姿が見られた。

【教材と出会う】

- ・伸膝台上前転という技を認識
- 既習の技との違いから、伸膝台上前転の特徴を見付け、膝を伸ばした状態で台上前転を行うことを理解する。



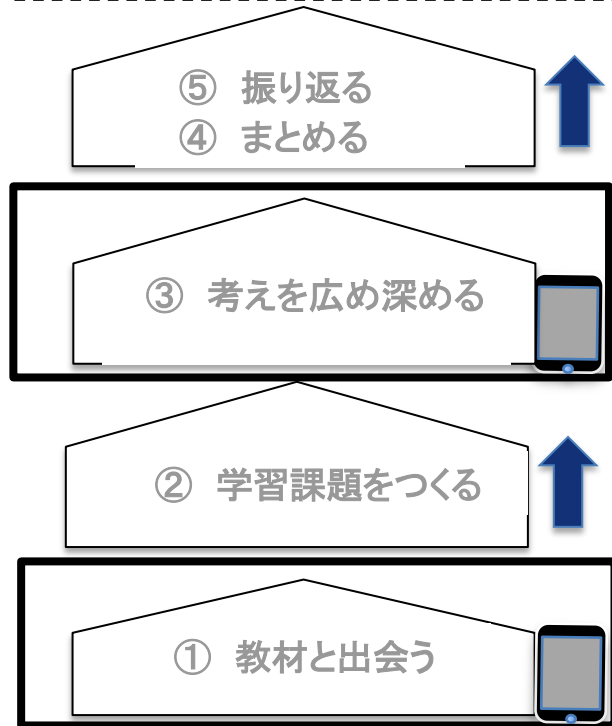
題材名と本時のねらい

題材名: 季節の風景を音楽で描く, その描き方の秘密を解き明かそう[教材:「春」第一楽章 A. ヴィヴァルディ作曲]

本時のねらい: ソネットに基づく標題音楽を鑑賞することについて, 楽譜を使用して, ソネットが表す風景や情景と旋律の上下, フレーズの反復や変化, リズムの密集などを関連付けて聴くことを通して, そのよさや美しさを味わうとともに, 季節を表現した音楽の特徴を捉えることができる。

ICT活用のポイント

○演奏と楽譜を合わせた映像データをSymphonyProとiMovieアプリで作成し, ロイロノートを活用した学習活動を行う。個人, グループで知覚・感受したことなどの共有もロイロノートを用いる。



授業の概要

⑤ 振り返り

ロイロノートを用いて今回学んだことを自分の言葉でまとめる。

④ まとめ

各班のまとめを全体で共有する。

③ 「春」の4つの部分を聴き, ソネットとの組み合わせを考えよう。

- ・ロイロノートを用いて, 曲を聴きながら楽譜とソネットの組み合わせを考える。
- ・ソネットとの組み合わせを確かめリトルネッロ部とエピソード部について知る。
- ・楽譜を見ながら, 音楽のどの部分や要素が, ソネットの内容を表しているかと

考

えられるか, 班の意見をまとめる。

② 季節の風景を音楽で描く, その描き方の秘密を解き明かそう。

「ヴィヴァルディは, どのようにして春の風景を音楽で表現したのだろうか。」

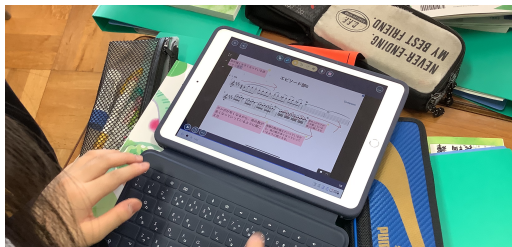
① 音楽で表現されたイタリアの四季を感じ取ろう。

- ・イタリアと日本の四季の違いや, 当時のイタリアの生活について知る。
- ・作曲者が, 「夏」「秋」「冬」の季節についてどう表現しようとしたのかを知る。

【ICT活用の場面】

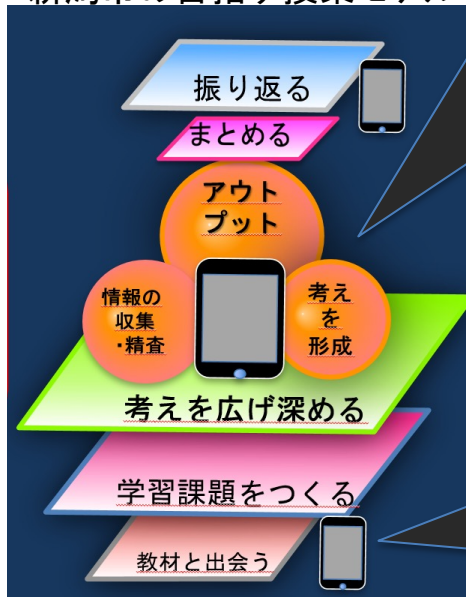


～エピソード部が何を表現しているか？～



曲の秘密を解き明かすため、曲を可視化できる映像データをもとに感じたこと、気付いたことをまとめている様子

新潟市の目指す授業モデル



【考えを広げ深める】

- 前時、ソネットと音楽の組み合わせを考えたことについて、生徒が聴き取ったことを確認し、本時の学習内容を説明する。
- 映像データの楽譜を見ながら聴く活動をとおして、作曲者がどのようにして春の風景(エピソード部)を音楽で表現したのか、班の意見をまとめる。
- 具体的にどの部分がどんな風景や情景を表しているか、映像データを確認しながら、気付いたことや感じ取ったことなどをタブレット上にメモする。
- 各エピソード部について、旋律、リズム等について気付いたことや感じ取ったことを発表する。各班がまとめたことを全体で共有し、まとめ、振り返りを行う。



【教材と出会う】

- 題材のめあてとして、「季節の風景を音楽で描く、その描き方の秘密を解き明かそう」を提示する。
- オーディオで「四季」を聴き、日本とイタリアの季節の違いやイタリアの生活について、iPadを活用して調べ学習を行う。



単元名と本時のねらい

単元名:Project2 英語のタウンガイドを作ろう

本時のねらい:ALTに紹介したいおすすめの場所について事実や自分の考えを整理し,簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

ICT活用のポイント

目的,場面及び状況に応じた,まとまりのある英文を班で完成させるために,ロイロノートを活用して役割分担された内容(概要,詳細,呼びかけ)について個人で英文を作成する。その後,個々で作成した英文をロイロノート上で共有し,全文を班で検討することで,より目的,場面及び状況に応じた適切な英文にすることにつなげている。

⑤ 振り返る

③ 考えを広め深める

② 学習課題をつくる

① 教材と出会う

授業の概要

④まとめる

班で作成した英文を即時に共有することで,好事例や様々な表現を共有することができる。

③考えを広め深める

個人で作成した英文を合わせて,まとまりのある英文を作成し,それを共有し,目的,場面及び状況に合っているかを話し合うことで,より適切な表現にすることができる。

①教材に出会い課題に気付く

ALTのビデオレターの中で,具体的な目的,場面及び状況を生徒に伝える。

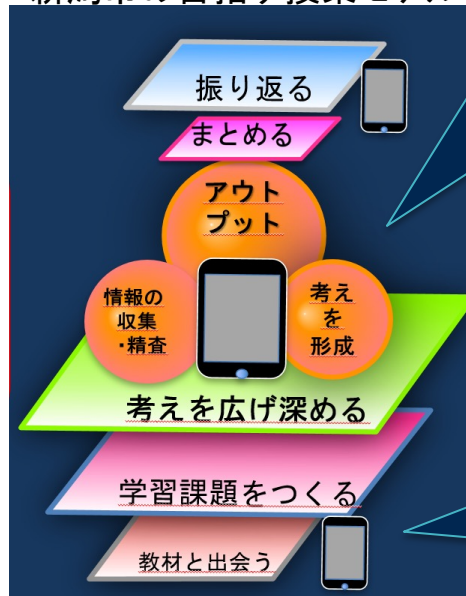
【ICT活用の場面】



～より適切な英文にするための班での検討～



新潟市の目指す授業モデル



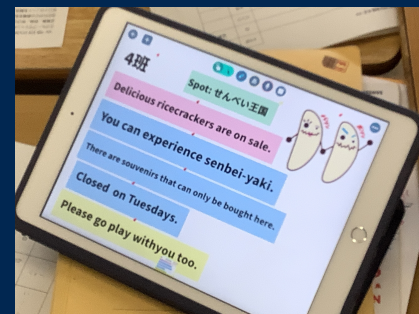
【考えを広げ深める】

班で話し合い、決定した役割分担（概要、詳細、呼びかけ）を英文で個人作成する。

それをICT端末を活用して共有し、以下の観点で話し合いを行い、より適切な英文を完成させる。

- ①ALTの依頼に正対して答える英文になっているか。
 - ・目的、場面及び状況
- ②文につながりがあり、まとまりのある英文になっているか。
 - ・相手意識
 - ・英文の適切さ
- ③単語のつづりや文法が正確であるか。
- ④英文を書くルールが守られているか。

★ロイロノートを活用して、個で作成した英文をすぐに班内で一つの英文にすることができるため、より適切な英文にするための検討時間を十分に確保することができる。



【話し合い前の個人作成した英文】

【教材と出会う】

ALTがALTの友達（新潟市以外に在住）を連れて北区を案内したい、北区のおすすめの場所を紹介してほしいというメッセージをビデオレターで紹介する。

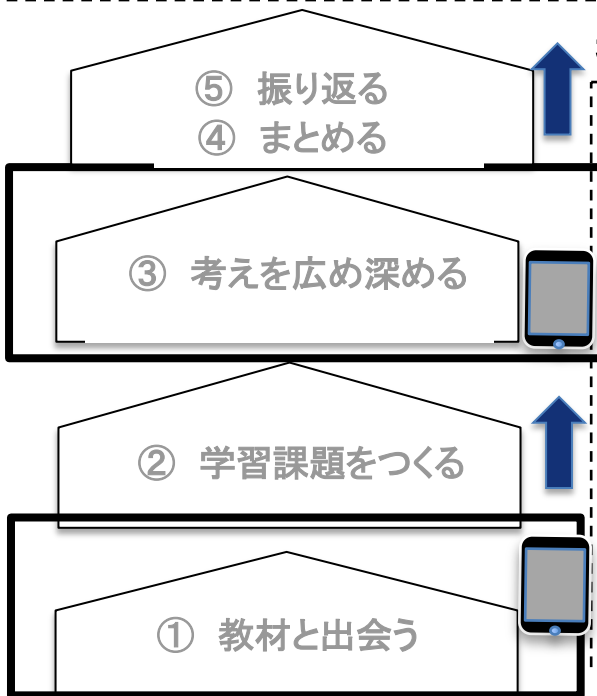
単元名と本時のねらい

単元名: Lesson 2 My Dream (NEW CROWN English Series 2)

本時のねらい: 自分の行きたい国や挑戦したいことについて、よりよいスピーチの要件を考え、互いにアドバイスをすることを通して、2分程度のまとまった内容のスピーチをすることができる。

ICT活用のポイント

iPadで撮影した動画を見て、よりよいスピーチの要件に即して互いのスピーチについてアドバイスをし合う。



授業の概要

- ⑤ 振り返る
要件に即してうまくできたことと改善点を各自が振り返りシートに記入する。
- ④ まとめる
ロイロノートで提出された考えを整理し、よりよいスピーチの要件を全体で確認する。
- ③ 考えを広め深める
・ペアで互いの練習を録画し、ロイロノートで送信し合う。
・録画を見て、要件に即して自分のスピーチの改善点を書き出す。
・相手のスピーチの録画を見て、改善点をアドバイスする。
- ① 教材に出会い課題に気付く
スピーチの良いモデルと改善点のあるモデルの録画を視聴し、それらを比較してよりよいスピーチの要件を考え、ロイロノートに書く。

新潟市立臼井中学校 第2学年【教科：外国語（英語）】 ②

【ICT活用の場面】

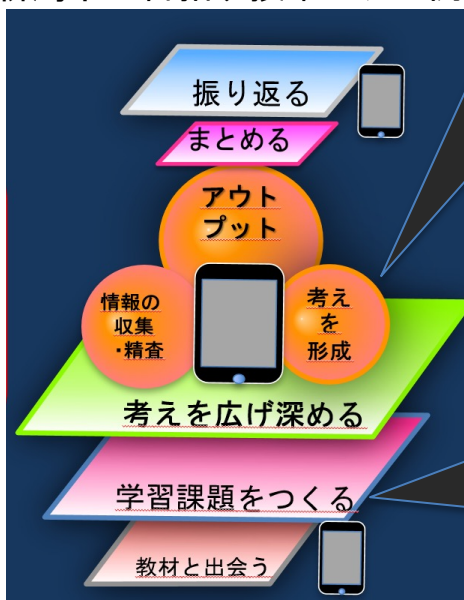


～スピーチの動画を見てアドバイスし合う～

スピーチの様子を録画し、よいスピーチの要件に照らし合わせて、友達同士でアドバイスをし合う様子



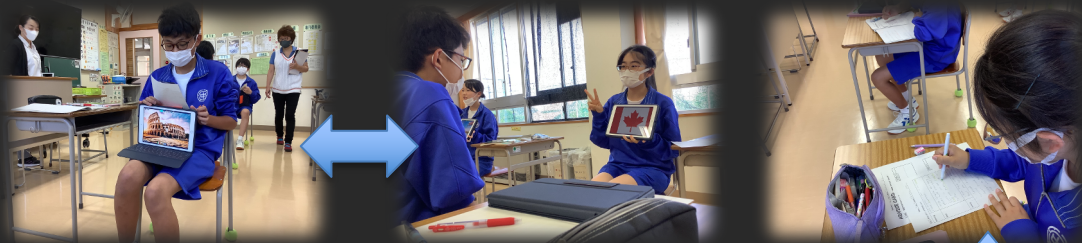
新潟市の目指す授業モデル例



【考えを広げ深める】

<1回目>

- ・よりよいスピーチの要件を踏まえ、ペアでスピーチの練習をする。
- ・一人は、iPadに取り込んだ資料を使い、自分の行きたい国やそこでやってみたいこと等についてペアに伝える。もう一人は相手のスピーチをiPadで録画し、ロイロノートでその動画を送信する。



- ・送信された自他の動画を視聴して感じたことや改善点をアドバイスカードに書く。

<2回目>

- ・アドバイスカードを交換し、1回目の改善点を踏まえて、再度スピーチに取り組む。その様子をiPadで録画し合う。

【学習課題をつくる】

2つのモデルスピーチ動画を視聴し、よいモデルの要件について、一人一人が自分の考えをロイロノートに書き、提出する。

全体で考えを整理し、よりよいスピーチの要件を以下のようにまとめる。

- ・声の大きさ ・スピード ・聞き手を見る
- ・伝えたい言葉をはっきり言う ・ジェスチャー



単元名と本時のねらい

単元名: Lesson 5 Things to Do in Japan USE Write 人気のあるものを調べてレポートを書こう

本時のねらい: ALTの先生に知ってもらうために, 日本の中学生の好みや流行のアンケート結果について, 事実や自分の考えを整理し, 簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

ICT活用のポイント

- ・ 前時に作成した「中学生の好みや流行についてのアンケート」をロイロノートでクラスの仲間に送信する。集計結果をグラフ化し, モデル文とデータを基に, 比較級等の既習の文や語句を使って英作文に取り組む。
- ・ ロイロノートで送信されたALTの音声画像を参考にして, 各自でスピードを変えるなどして音読練習をする。
- ・ グーグル翻訳の音声入力を用いて, 自分の発音が正しく認識されているか確認する。

⑤ 振り返る

③ 考えを広め深める

② 学習課題をつくる

① 教材と出会う

授業の概要

⑤振り返る

・作成した英文や発表の工夫, 良いところ, 改善点をまとめる。

④まとめる

・各自が読む練習をし, その後グループでALTの先生に送る動画を撮影する。

③考えを広め深める

・前時にグループで準備したアンケートをクラスの仲間に送信し, 集計する。
・モデル文と集めた情報を基に, ALTに伝える英文を書く。その際, Bodyの部分はモデル文を参考にし, OpeningとClosingはグループでオリジナルな文を考える。

①②活動のめあてを確認し, 学習の見通しをもつ

・ALTからのビデオレターを見て, ALTからのリクエストを確認する。
・教科書のモデル文(p.80)を音読し, 内容と構成を理解する。
・グーグル翻訳の音声入力を用いて, 正しく認識されるか挑戦する。

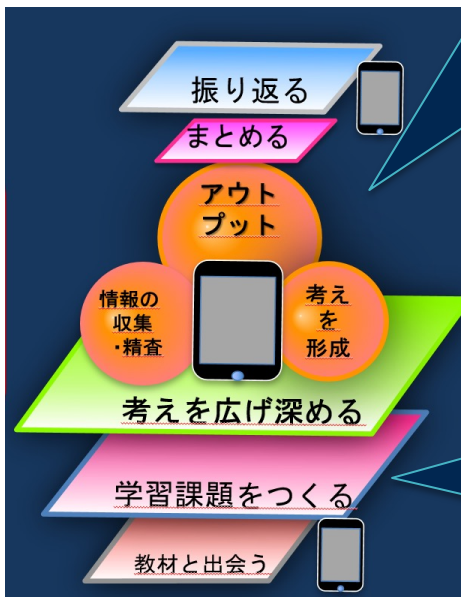
新潟市立巻東中学校 第2学年【教科：外国語（英語）】 ②

【ICT活用の場面】

～ロイロノートで送られたモデル文の音声データを用いて、スピードを変えて音読練習する姿～



新潟市の目指す授業モデル例



【考えを広げ深める】

＜情報収集＞

- ・前時にグループで作成したアンケートをクラスの仲間に送信する。
- ・ロイロノートでアンケートを集約し、データ化する。

＜英文作成＞

- ・モデル文と収集したデータを基に、ALTのリクエストに応える英文をグループで作成する。



【まとめる・振り返る】

＜音声化・動画を撮る＞

- ・自分の発音で伝わるか、Google 翻訳の音声入力を使って発音が正しく認識されるかを確認し、その後、グループで動画を撮る。
- ・自分の英文や発表の工夫、よいところ、改善点をまとめる。

【活動のめあての確認】

- ・ALTからのビデオレターを見て、ALTからのリクエストを確認する。

【モデル文の理解】

- ・教科書のモデル文(p.80 Step3)を音読し、内容と構成を理解する。
- ・ロイロノートで送られたモデル文の音声データを用いて、音読練習をする。



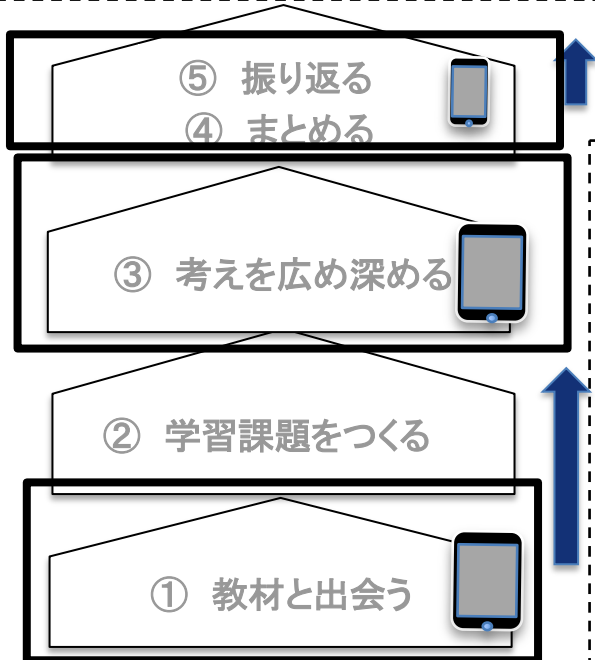
単元名と本時のねらい

単元名: Project1 日本限定アイスクリームを提案しよう

本時のねらい: 特産物を使った新商品のアイスクリームを外国人観光客に向けて活動することを通して、アイスクリームの特徴やおすすめのポイントについて、事実や自分の考えを整理して簡単な語句や文を用い、商品の魅力が伝わるように工夫して話すことができる。

ICT活用のポイント

自分のスピーキングを撮影し、それを友達に見せてアドバイスをすることで、内容や伝え方をさらに向上させる一助とする。



授業の概要

- ⑤ 振り返る
本時で求める主体的に取り組む態度の内容などを明記して、ロイロノートを活用して振り返りを記述する。
- ③ 考えを広め深める
アドバイスをもとに、スピーキング(内容 伝え方)が改善されたかを確認するために動画撮影をする。
- ② 学習課題をつくる
前時の最後に撮影した動画を見せて、さらに向上するための具体的なアドバイスを得る。

新潟市立味方中学校 第3学年【教科：英語】 ②

【ICT活用の場面】

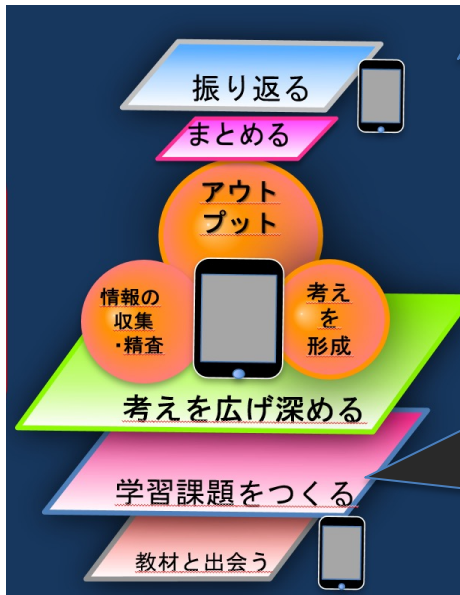


～練習を録画し、成果を確認する。～



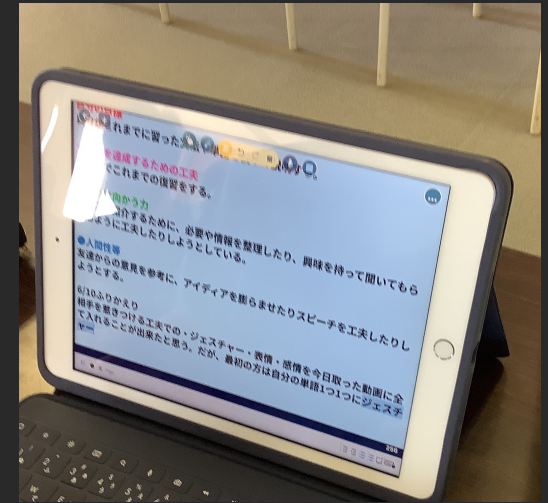
友達からのアドバイスをもとに、さらに内容や伝え方を向上させるために、自分のスピーキング動画を見て、練習する姿

新潟市の目指す授業モデル例



【振り返る】

単元を通してロイノートを活用して振り返りを記述する。単元の目標、本時の目標が明示されて、何を記述するかが明確になる。



【学習課題をつくる】

スピーキングを向上させるためのポイント(まとめ)に沿って客観的に何を優先して改善するかについて友達からアドバイスをもらう。前時に録画したビデオを根拠にして行う。



授業とつながる家庭学習×ICT 東中野山小学校の取組

東中野山小学校の紹介

東中野山小学校は、令和2、3年度の2年間渡って「新潟市授業改革パイロット推進事業」の指定を受け、GIGAスクール環境下におけるICT端末の利活用について、先進的な取組を行っている。特に今年度は、学びのイノベーションを目指して、ICTを活用した指導法の工夫について、全校一体となって優れた実践事例を蓄積している。

東中野山小学校で取組

～授業で主に利用しているロイロノートや動画機能を活用した家庭学習の取組について～

1 授業に関連した課題への取組

- ・国語における作文や意見文
- ・2年算数「かさ」…自宅にある容器（リットル）探し
- ・総合などの〇〇新聞やスライドづくり
- ・授業の振り返り など

2 動画撮影による家庭学習の取組

- ・音読
- ・スピーチ（国語・外国語）
- ・九九練習
- ・リコーダー など



上記の課題について、ロイロノートでカードや写真（動画）の提出機能を用いたり、回答共有や返却などを適宜行いながら、個々の取組を視覚化したり、評価作業に生かしたりしている。また、動画による課題の提出は、自宅でも何度も挑戦し、撮影することができるので、納得のいくまで取り組むことができる。

授業とつながる家庭学習×ICT 小合東小学校の取組①

小合東小学校の紹介

小合東小学校では、「GIGAカフェ」と銘打って、教職員がICT端末の活用方法や実践例を語り合う職員研修が定期的に行われている。特にICT端末を積極的に活用している教職員が、その技法や実践例を他の教職員に発信することで、学校全体のGIGAスクール構想の推進が図られている。一方、授業づくり等について、力量がある教職員から学ぶ様子が見られるなど、協働性、同僚性が発揮される学校風土の中で、日々の教育活動が展開されている。

小合東小学校で取組

～授業で主に利用しているロイロノートや動画・録音機能を活用した家庭学習の取組について～

1 家庭学習への意欲付けの工夫

- (1) 年度初めに、「自学のコツ」を子どもたちと共有し、学級一体となって取り組む雰囲気をつくる。
- (2) 家庭学習に対して、教師からの即時評価、自己評価、他者評価を頻繁に行って意欲付けをしたり、自学の内容を学級全体で共有したりする。
- (3) 家庭学習時のICT端末活用を積極的に促し、具体的な使用方法を指導する。
- (4) 「ばっちりメニュー」（授業に関係のある内容）、「わくわくメニュー」（授業以外で自分のためになって楽しい内容）など、自学の内容が偏らないように配慮している。

自学ノートに書くこと
〈初級編〉

- ノートに日付を書く
 - めあてを書く
 - ふりかえりを書く
- めあてとは…
今からする自学の目標！

ふりかえり
今日やった自学のふりかえり！
→思ったことやわかったことを書く！（めあて、ふりかえりの書き方は自学のコツ①で！）



【子どもがロイロノートで作成した自学のやり方】

授業とつながる家庭学習×ICT 小合東小学校の取組②

2 家庭学習の取組の様子 ～子どもたちの「自学ノート」から～

【外国語の復習】（ばっちりメニュー）

※ロイノートと音声録画機能を活用

2月4日(金) (ばっちりメニュー) ○自分で考えたメニュー(英語の単語の発音練習)めあて 学校生活で役立つような単語を練習する。

学校に関する英語の単語発音練習

◎教科

図画工作 English Japanese math music P.E. science Social Studies

◎学校にあるもの

blackboard book computer dictionary homework textbook

◎楽器

drum guitar harmonica piano recorder violin

◎スポーツ

badminton baseball basketball dodge ball table tennis soccer swimming tennis

◎イギリスでは、サッカーのことをfootballというよ。

振り返り
イラストを入れてわかりやすくしながらまとめることができた。自分が知っているのもあれば知らないものもあったので勉強になった。学校生活の単語を使って英語の練習ができた。

外国語の学習で興味をもった英単語のスペルを調べ、音声録音機能を使って、発音練習をしました。

【社会科の学習】（ばっちりメニュー）

※ロイノートとインターネット検索を活用

1月31日(月) (ばっちりメニュー) ○社会の授業の復習めあて 写真を入れながらまとめる。

社会の授業の復習

◎新潟市は、どんな国と交流しているの？
◎外国人の数が多いのは、中国、ベトナム、韓国、アジア、ヨーロッパ、アフリカ出身の人がいます。

◎新潟市国際交流協会とは？
・新潟市と繋がりが深い国や新潟に住む外国人との交流、生活などを支えている。
・地域との交流と協力活動や新潟市に住む外国人へへの支援や協力を進めるため1990年に創立された。

◎なぜ新潟市は国際交流が盛ん？
・新潟は日本海に面していて船で来やすい。
・本州の日本海側で最も大きな都市だから。

◎新潟市は「新潟県国際交流協会」もあるよ。ここでは新潟県が世界の国々と仲良く文化交流し物々を行ったり来たりしているよ。

←外国語による無料相談窓口案内
新潟市に近い韓国や中国などと交流しているよ。

◎新潟市には、どこの国の「領事館」があるの？
中国 ロシア イタリア

◎韓国 モンゴル
※1…多くの人を集めて行う行事。いろいろな展示など
2…日本に住んでいる外国人の助けをする施設

振り返り
写真を使ってわかりやすくしながらまとめることができた。韓国や中国などと交流が盛んということがわかった。モンゴルの領事館があることがわかった。

社会科授業の復習で、新潟市がどんな国と交流しているのかをさらに調べ、ロイノートにまとめました。

【自学のまとめ】（わくわくメニュー）

※ロイノートとこれまでの自学を活用

4年生の自学ブック

その7 **一番良いやり方を考える**

ロイノートでやるのがいいのかノートでやるのがいいのか…
考えてからやってみよう！一番いい方法で勉強できるといいね

関係を復習するには、ノートに自分で書いてみるのがいいよね！ロイノートに写真だけ貼るのは復習にならないからね。

たくさん写真を貼るのはロイノートがいいね！

録音ができるのはロイノートだけ！

これまでの「自学」のあゆみを、子どもたち自ら比較分析をして、「自学のコツ」としてロイノートにまとめてみんなで共有するとともに、三年生に伝えました。

出版社主催の自学コンクールに応募して、S賞を受賞した子どもいます！

3 さいごに

ICT端末の機能を有効活用しながら、年間を通して児童の意欲を持続させるための工夫を、学級全体で行っている。

- パイロット校の実践が知りたい

令和3年度パイロット校事業実践報告

【令和の授業づくりを意識した主体的・対話的で深い学びの実現】

浜浦小学校

関屋小学校

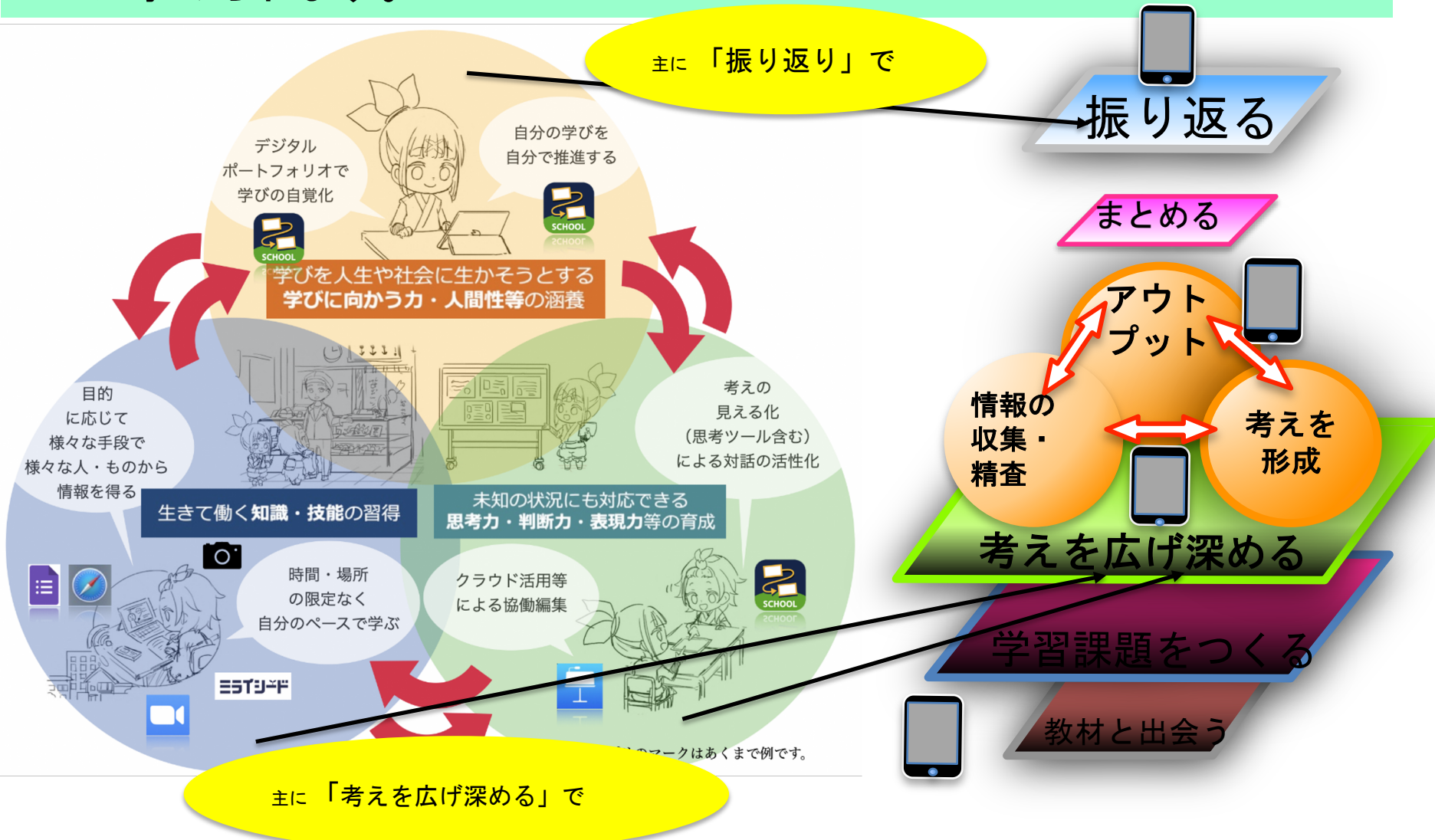
亀田小学校





情報活用能力とは？ part 1

新学習指導要領で目指す子どもの姿の実現には、必要不可欠な力です。各教科等の学習の際に、下図を参考に学習過程に溶け込ませて育成していくことが求められます。



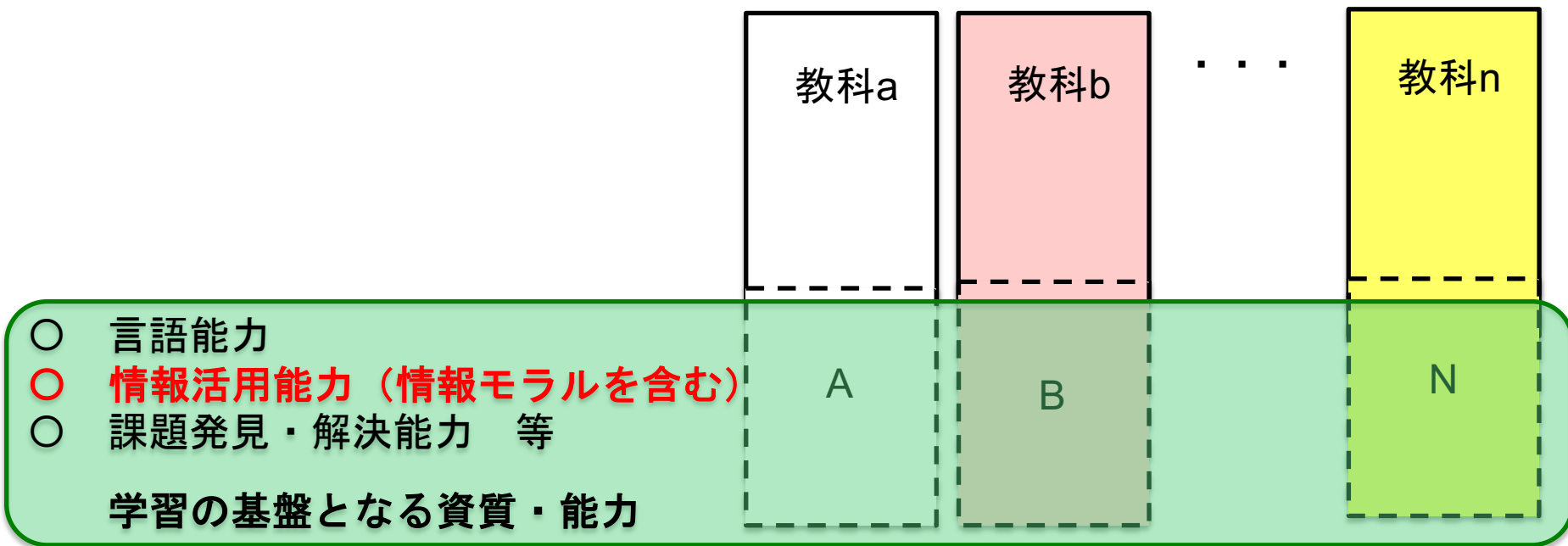


情報活用能力とは？ part2

令和2年度から順次実施されている新学習指導要領で示された「学習の基盤となる資質・能力」の一つです。

タブレット端末で情報を収集したり，整理・比較したり，分かりやすくアウトプットしたり，保存・共有したりすることができる力です。

そのために必要な基本操作やプログラミング的思考，情報モラルも含まれます。
全ての教科・領域でICTを活用して，アウトプットを含む令和の学習過程の中で情報活用能力を育みましょう。



教科aで育まれた情報活用能力Aが教科bやnに転用されることもあるよ。

情報活用能力AやBが高まることによって，教科aやbの資質・能力も向上するよ。

国語

- ・ 小学校国語 3 年生 デジタル言葉のたから箱
- ・ 小学校国語 3 年生 モチモチの木
- ・ 小学校国語 5 年生 日常を十七音で
- ・ 中学校国語 2 年生 仁和寺にある法師

社会

- ・ 小学校社会 5年生 米作りのさかんな地域
- ・ 中学校社会 2年生 北海道地方

理科

- ・ 小学理科 5 年生 振子の運動
- ・ 中学理科 3 年生 生物の観察と分類の仕方

音楽

- ・ 小学校音楽 2 年生 はくのまとまりをかんじとろう
- ・ 中学校音楽 2 年生 曲想と音楽の構造との関わりを理解し、
曲のよさやオーケストラの豊かな表現を味わおう

図画工作

- ・ 小学校 3・4年生 形と色の造形遊び

技術・家庭

・ 中学校技術分野 使用目的に合った製品の設計・製作

体育・保健体育

- ・ 小学体育 5・6年生 陸上運動ハードル走
- ・ 中学保健体育 3年生 球技ゴール型バスケットボール

外国語

- ・ 中学校 2 年生外国語 Lesson 4 Uluru
- ・ 中学校 3 年生外国語 Lesson5 I Have a Dream
- ・ 小学校6年生 Unit3 「Let`s go Italy」

道徳

- ・ 中学校3年生道徳 足袋の季節~よりよく生きる喜び~

総合

- ・ 小学校総合的な学習の時間 潟の環境改善プロジェクト

外国語活動

- ・ 小学校3年生外国語活動 Unit7 This is for you

- 国語
 - ・ 小学校国語 3 年生 デジタル言葉のたから箱
 - ・ 小学校国語 3 年生 モチモチの木
 - ・ 小学校国語 5 年生 日常を十七音で
 - ・ 中学校国語 2 年生 仁和寺にある法師
- 社会
 - ・ 小学校社会 5 年生 米作りのさかんな地域
 - ・ 中学校社会 2 年生 北海道地方
- 理科
 - ・ 小学理科 5 年生 振子の運動
 - ・ 中学理科 3 年生 生物の観察と分類の仕方
- 音楽
 - ・ 小学校音楽 2 年生 はくのまとまりをかんじとろう
 - ・ 中学校音楽 2 年生 曲想と音楽の構造との関わりを理解し、曲のよさやオーケストラの豊かな表現を味わおう
- 図画工作
技術・家庭
体育・保健体育
 - ・ 小学校 3・4 年生 形と色の造形遊び
 - ・ 中学校技術分野 使用目的に合った製品の設計・製作
 - ・ 小学体育 5・6 年生 陸上運動ハードル走
 - ・ 中学保健体育 3 年生 球技ゴール型バスケットボール
- 外国語
 - ・ 中学校 2 年生外国語 Lesson 4 Uluru
 - ・ 中学校 3 年生外国語 Lesson5 I Have a Dream
 - ・ 小学校 6 年生 Unit3 「Let`s go Italy」
- 道徳
総合
外国語活動
特別活動
各種教育
 - ・ 中学校 3 年生道徳 足袋の季節~よりよく生きる喜び~
 - ・ 小学校総合的な学習の時間 潟の環境改善プロジェクト
 - ・ 小学校 3 年生外国語活動 Unit7 This is for you
 - ・ 小学校中・高学年 あいさつ運動を盛り上げよう
 - ・ 新潟市新聞活用教育 (NIE)推進事業

【各種教育】

1 新潟市新聞活用教育(NIE)推進事業

2 図書館活用事業実践例(日和山小)